

【美浦村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）等を踏まえ、美浦村では目指す学びの姿を「個性を伸ばし、未来を創造する「みほ」の学び」とする。具体的には、1人1台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、ダイバーシティ社会で一人ひとりの能力を十分に発揮できること、多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

美浦村では、これまで1人1台端末の整備と共に、校内などの通信ネットワークの整備を進めてきた。また、ICT支援員の助言の下、授業での活用も徐々に進んできており、児童生徒同士で意見交換を行い、問題解決に取り組むといったことも行われている。しかしながら、いくつかの課題も見えてきた。

まず、教職員のICTを活用した指導力について、意識・スキル面で学校内または学校間での格差が見られる。より一層の1人1台端末の利活用を進めていくには、端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員のICTを活用した指導力の向上が求められると考えている。

さらに、個別最適な学びの充実という観点では、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において、ICTを活用した個別最適化の具体的な方法や教材が不足しており、教員の個別指導スキルにも課題が見られる。

また、学びの保障という観点では、希望する児童生徒への端末を活用した教育相談の体制が十分に整備されておらず、ICTを活用した相談スキルの向上や、相談体制の整備が求められる。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していくと共に、1人1台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- (1) 教職員向けのICT研修を設け、受講率を100%にすることに加え、教職員の理解度に合わせてICT支援員の協力体制を整備する。＜教職員のICT活用指導力の格差の解消＞
- (2) 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場면을充実させるために、アダプティブラーニング教材の導入などを検討する。また、教員向けの個別指導スキル向上研修を実施し、ICTを活用した個別指導のノウハウを共有し、さらに、

児童生徒同士の教えあい学びあいを促進するため、ICTを活用した協働学習ツールを導入し、活用方法の研修を行う。＜個別最適・協働的な学びの充実＞

- (3) 希望する児童生徒への端末を活用した教育相談の体制を整備するために、ICTを活用した相談スキルを持つ相談員の育成や、オンライン相談システムの導入を検討する。さらに、ICTを活用した教育相談の事例を収集し、教職員間で共有することで、相談対応の質の向上を図る。＜学びの保障＞